

みやぎのボランティア 市民活動情報誌

2017
vol.244
毎月1日発行

9月号

杜の伝言板 ゆるる

月刊



●改めて「協働」について考えよう —地域で活かすSDGs—

認定NPO法人日本NPOセンター SDGs事業プロデューサー 新田英理子

●夢や就きたい仕事、よりも、「こうありたい自分」を持てるように

特例認定NPO法人ハーベスト キャリア教育コーディネーター 中山聖子

みやぎNPOプラザからのお知らせ

活動の幅を広げる 「交流サロン」「会議室」活用術

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



改めて「協働」について考えよう

—地域で活かすSDGs—



◀SDGs ジャパンが提供する子ども・若者向けのハンドブック日本画版



認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター
SDGs事業プロデューサー
一般社団法人 SDGs市民社会ネットワーク
地域連携アドバイザー

新田 英理子

最近目に付く英字四文字の「SDGs」。横文字なので、遠い外国がやっていることだろう、と思っていたところ、途上国だけでなく、すべての国が取り組まなくては、世界の課題を解決できない!という考え方からすべての国が対象となっているうえ、国連に加盟する国すべての国家元首が宣言しているのです。もちろん日本も。

課題解決は、規模は大きくありませんが、日頃NPOが取り組んでいる活動そのもの。私たち市民も無関心ではられません。

そこで今回は、市民社会のネットワークである一般社団法人SDGs市民社会ネットワークの国内地域連携事業担当アドバイザーで活動している新田英理子さんから「SDGs」について執筆していただきました。

「NPOがこんなに様々な活動しているのに、社会が良くなっていく気がしない。」

SDGsを活用したいという原動力は、こんな危機感からスタートしています。

通称NPO法人が社会に登場して丸十九年。全国に五万を超えるNPO法人が誕生し、宮城県では、八一五法人を越えました。公益を目的に活動する法人が日本社会にはそれだけ増えたことになり、しかしながら、地域や社会の課題は、複雑化、多様化、個別化を極め、技術や科学は進歩し制度も整ってきている一方で、「ひと」を真ん中に据えたとき、それらの課題が解決しているとは感じにくくなっているのではないのでしょうか？

実は、そのような地域や社会の課題に対して、真つ向から立ち向かおうと設定されているのが、今回ご紹介する「SDGs(エス・ディー・ジーズ Sustainable Development Goals)」です。最近、チラホラ聞かれるようになってきたSDGsは、二〇一五年九月に実施された、国連持続可能な開発サミットで採択された十七の目標の総称です。「国際的な目標」なのであれば、自分たちには関係

ないわと目を背けずに、ちょっと覗いてみてください。

「Transforming our world」(我々の世界を変革する)というスローガンが付いた「持続可能な開発のための二〇三〇アジェンダ」がSDGsの本体となっており、前文に加えて、①宣言、②持続可能な開発目標(SDGs)とターゲット、③実施手段とグローバル・パートナーシップ、④フォロアアップとレビューの四つのセクションから構成されています。



SDGsの17目標



1 貧困をなくそう
あらゆる場所のあらゆるかたちの貧困を終わらせる



2 飢餓をゼロに
飢餓を終わらせ、栄養を改善し、持続可能な農業をすすめる



3 すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人の健康な生活を確保し、福祉を推進する



4 質の高い教育をみんなに
全ての人への衡平な質の高い教育と生涯学習の機会を提供する



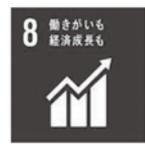
5 ジェンダー平等を実現しよう
世界中で女性と少女が力をつけ、ジェンダー平等を実現する



6 安全な水とトイレを世界中に
全ての人に持続可能な水の使用と衛生設備（トイレ、下水道など）を保障する



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
全ての人々が、安くて安定的に発電してくれる、持続可能なエネルギー（太陽光、風力などの再生可能エネルギー）が使えるようにする



8 働きがいも経済成長も
みんなが参加できる持続可能な経済成長を促進し、全ての人々が職をもち、働きがいのある人間らしい仕事ができるようにする



9 産業と技術革新の基盤をつくろう
災害に強いインフラをつくり、みんなが参加できる持続可能な産業化を進め、新しい技術を生み出しやすくする。



10 人や国の不平等をなくそう
国内及び国家間の格差と不平等を減少させる



11 住み続けられるまちづくりを
まちや人びとが住んでいるところを、だれもが受け入れられ、安全で、災害に強く、持続可能な場所にする。



12 つくる責任 使う責任
生産と消費のパターンを持続可能なものにするを促進する



13 気候変動に具体的な対策を
気候変動とその影響を軽減するための緊急対策を講じる



14 海の豊かさを守ろう
海と海洋資源を守り、持続可能な利用を促進する



15 陸の豊かさも守ろう
陸の生態系を保護し、持続可能な利用を促進し、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地の劣化、生物多様性の喪失を止める



16 平和と公正をすべての人に
平和的で、誰一人のけ者にされない社会と、全ての人々が法律に基づいた手続きをとれるようにする。あらゆるレベルで効率的で説明責任ある能力の高い行政を実現する



17 パートナーシップで目標を達成しよう
目標達成のために必要な行動を強化し、持続可能な開発に向けて世界の国々が協力する

※「SDGsジャパン」前身体「動く→動かす」のHPより抜粋

注目ポイントは、四つあります。

一つめは、国連全加盟国が全会一致で採択したということ。NPO法も超党派のNPO議連も立ち上がり、そのときの国会で、全会一致で可決されました。つまり、普遍性が高く、だれも反対するものではないと言っています。だからこそ、多くのステークホルダーを巻き込むことができます。

二つめは、私たちも策定プロセスに、大なり小なり関わって、作られてきたと言っています。「ミレニアム開発目標」(Millennium Development Goals: MDGs)に代わる新目標として採択はされていますが、二〇一二年の「リオ+20」での策定合意後に、NPO/NGOを含む広範な協議が世界各地で実施され、採択されました。三つめは、目標の中においても、パー

トナーシップで課題を解決していくことが強く期待されており、グローバルに活動を展開している企業(日本企業含む)は、積極的に活用しようとしています。そして、NPOにとって、一番注目したいのは、重要な要素として、五つのP(People, Prosperity, Planet, Peace, Partnership)



【8つの優先課題】

8つの優先課題はそれぞれ、2030アジェンダに掲げられている5つのPに対応。

People (人間)	1 あらゆる人々の活躍の推進 2 健康・長寿の達成
Prosperity (繁栄)	3 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション 4 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
Planet (地球)	5 省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会 6 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
Peace(平和)	7 平和と安全・安心社会の実現
Partnership (連帯)	8 SDGs実施推進の体制と手段

Partnership)が掲げられ、さらに重要なコンセプトとして「leave no one behind」(誰も置き去りにしない)もしくは「誰ひとり取り残さない」を提唱していることです。NPOにとっては、「あたりまえ」のこの考え方を、世界中の国家元首が宣言の中で改めて確認したことは、わたしたち、NPOの活動を後押ししていることに他ならないと思っています。

●●● 地域のNPOは? ●●●

市民参加型NPOの宮城県での草分け的存在、特定非営利活動法人グループゆうの中村祥子理事は、「SDGsとまとめると聞きなれない言語だったけれど、ひとつひとつの目標に具体的なターゲットがあつて、二〇三〇年までにそれを世界中で達成しようという「意志」の集合体であると感じた。新しい公共を産み出そうとしたNPOの源もまさにそれで、改めて活動の原点に立ち返る事ができ、より多くの他の分野や領域と協働することで、諦めかけていた社会的課題を諦めなくてもいいかもしれないという期待が持てた。」と、コメントをいただきました。



グループゆう…みんなと共同で配食弁当作り

また、岩手県釜石市で地域づくり、まちづくりを震災前から立ち上げて活動している特定非営利活動法人アットマークリアスNPOサポートセンター鹿野順一代表理事は、「十五年後にちゃんと若い人が住み続けたいと思える地域づくりのためには、「だれかがやってくれるのを待っていてはだめ。震災後の復興で立派な建物ができて、結局そこに人がいなければ、暮らし続けられなければ、何のための建物だったのかとなる。SDGsという言葉を先に使ったって、その時点で何それ?となるか

ら、「協働」でやってみよう。そのときに、共通のものさしがあるから、それは、SDGsで言っているターゲットや指標を使って貰えばいい」と、地方でSDGsを活用するときのコツをアドバイスいただきました。

●●● 日本政府の取り組み

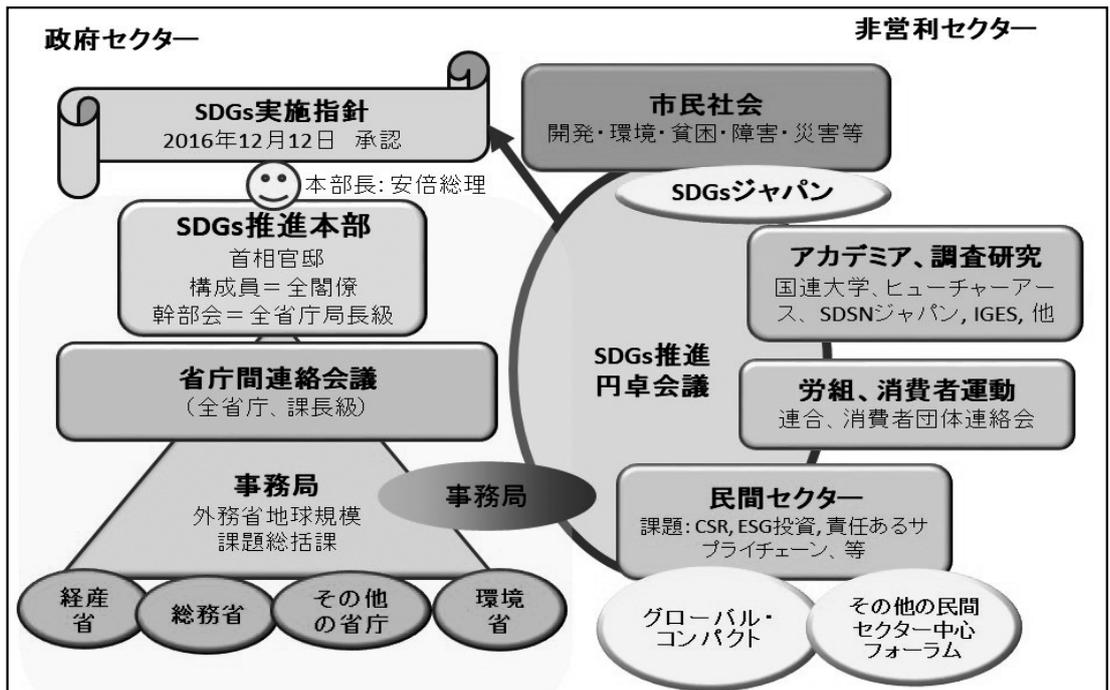
日本では、二〇一六年五月の伊勢志摩サミットにおいて安倍総理がSDGsの実現に向けて積極的に取り組むことを表明し、全省庁参加による推進本部が立ち上げられました。さらに、二〇三〇年までに目標を達成するため、十二月二十二日には実施指針が閣議決定されました。そして、今年七月には、ハイレベル政治フォーラムというレビューがおこなわれ、外務大臣が十五分間、日本の取り組みについて発表し、日本政府主催のレセプションでは、あの「デイスイズ ア ペン」で世界中で有名になったピコ太郎さんが、「パートナーシップPPAP」を発表しました。

●●● 市民の取り組み

十七の地球規模課題をまとめ

た「持続可能な開発目標」(SDGs)の達成を目指して行動するNPO/NGOなどの市民ネットワークが二〇一六年四月に発足しました。「一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク(SDGsジャパン)」は、「誰も取り残さない」かたちで貧困や格差をなくし、持続可能な世界の実現をめざすというSDGsの理念に賛同し、その実現のために「幅広い市民社会のネットワークづくり」、「政府・国会等の対話を促進すること」を

目的に、日本のNGO/NPOの幅広い連携・協力を促進し民間企業や地方自治体、労働組合、専門家・有識者などとの連携も進めていきます。



私は、二〇一四年八月一日に日本NPOセンターの事務局長となりましたが、今年の四月一日より、法人のSDGs事業プロデューサーとして、一般社団法人SDGs市民社会ネットワークの地域連

携事業担当アドバイザーとして週三日、出向しています。半年が経った今、多様な人々の参画によって物事を創り出すことに喜びを感じて活動しています。

宮城でも河北新報でSDGsをとりあげるなど、少しずつ、メディアにも露出していると聞いています。私たちが「こうなったらいいな」、「ああなったらいいな」という、意志の積み重なりが、ひとりひとりが大切にされていると感じることのできる、持続可能な未来をつくるのだと思います。SDGsが、その二〇三〇年の近い未来に、限界やため息やあきらめでない、みんなの意志の積み重なりとなることを願い、私も自分事として、その協働の輪に入っていこうと心に決めていきます。

SDGs市民社会ネットワーク
 ● URL : <http://www.sdgscampaign.net/>

夢や就きたい仕事、よりも、 「こうありたい自分」を持てるように



特例認定NPO法人ハーベスト

キャリア教育コーディネーター

中山 聖子

高校生や大学生に、世の中の多様な触れる機会をつくりたい。そんな想いを持って仲間と活動を始めたのが十年前です。その後、二〇〇九年に法人化をし、NPO法人ハーベストを設立、今年六月末まで経営に携わってきました。

ハーベストでは、年間四十校ほどの高校（一部中学校）を対象に、授業の中で「少人数の車座形式の社会人講話（キャリアセミナー）」を実施しています。ボランティア講師の協力を得て学校に出向き、「今の仕事」と「なぜその仕事に就いたのか」について生徒と対話をしていただいています。ここ数年は年間一万人ほどの生徒を対象に一、〇〇〇名の講師の協力を得て実施しています。

●●夢を聞かれ続ける学生生活●●

学校から社会へと出て行く時点まで、彼らは「夢は何？就きたい仕事？得意なことは？」と聞かれ続けます。その度に、彼らは自分の心に問いかけ、何かしら答えを出そうと考えますが、現実が見えてくる高校二年生くらいになるとそれを言えるのは半数ほどまでに落ち込みます。大学生はなおさら、就職活動という全国との競争を目前

に控え、チャレンジする意欲よりも消去法で安全安心を望む意識の方が強くなっていくように見えます。ご承知のとおり、全国的な人手不足により高校生も大学生も就職率は非常に高く、今後この状況は続くことが予想されます。しかし、そうした意識で入社した若者を企業は育てられるだろうか、そして、彼ら自身はそれで幸せだろうか、という疑問が湧きます。

「キャリアの八割が予期しない出来事や偶然の出会いによって決定される（ブランドハプンスタンズ理論）」という考え方がありますが、それがあある意味現実であり、変化の激しい不確実な要素が多いこれからの世の中だからこそ、若者に限らず、一人ひとりの「幸せの価値基準のものさし」を持てるような手立てが必要なのだと思います。「何をやりたいか」という問いはもちろん大切ですが、自分なりの「ものさし」を持てることの方が大事なのだと私は思います。

そうした現実を受け、学校現場（特に高校）では十年ほど前からさまざまな取り組みが行われています。端的に言うと、地域と学力で輪切りをされて入学をした彼らに、三年間でそれぞれの出口に見合った進路指導をし、結果を出すこと

です。企業からはもっと学生を育ててから社会に出して欲しいと言われ続ける中で、現場の教員は生徒の心情と日々向き合い、保護者との関係維持へも気を配りながら生徒の日常を支えているというところを、私はたくさん現場の先生方との関わりで感じていきます。

ただ、そうした中で、多くの学校（大学も含む）で行われているキャリア教育とは「自己理解・職業理解・キャリアプラン作成」に留まっているのが現状であり、「何をやりたいか」が見えない若者にとっては自己否定をしてしまう一つの要因になっています。いくら自分を掘り起こしてもないものはないと捉え、他者との関わりの中からも自身の良さや適正を発見していくことも必要なのではないかと思えます。日常生活へのもどかしさを



ものづくりの面白さを伝える講師

最も感じているのは現場の先生なのかもしれない。ハーベストが提供してきたキャリアセミナーもこうした背景の中で求められてきたと言えます。

●●●●● 売り手市場、でも期待は していない若者たち ●●●●●

今、高校生の就職率はかつてないほどの高まりを見せ、大卒者の就職率もリーマンショック後は毎年上昇し、二〇一六年三月卒業生は七割を超えています。しかし、一方で、離職率は三年以内で大卒者は三割(高卒者は四割)と依然として高止まりしていて、冒頭で述べた彼らの意識も踏まえると、企業側の心配や苦労は容易に想像でき、地方企業にとつては緊急性の高い課題として捉えられていると言えます。そして、高校より先の教育機関がない地域では高校卒業と同時に地域を離れてしまう若者が多く、その後地域へと戻ってくることもないため地域全体の高齢化が進み、生産年齢人口が年々減り、地元産業の担い手不足が深刻化しています。若者が戻らない(戻れない)理由は様々ですが、一つの理由として挙げられる賃金格差を埋めることは今後も難し



◀ 教室で車座になって講座を受ける生徒たち

く、企業側の人材育成にかけられる体力不足も相まって、歯止めをかけることができないでいます。もう一つの視点として大学進学率の上昇があります。全国の高校生のうち大学進学をする割合は半数を超えています。一方、全国で全国の大学の四割ほどが定員割れをしている現実もあり、こうした事実を踏まえると「大学へ入りやすくなっている」と言えます。しかし、大学進学者のうちの奨学金受給率も年々高まり、現在では大学生の半数が受給し、負債を抱えて社会に出ていかざるを得ない状況です。そうした中で、ある時期を境に、いくつかのサイトを通じた就職活動戦線に向かっていきます。漠然とした不安感の中で、周囲に同調することを望み、平均値と言われる枠の中で行動し、社会に出ていく若者は少なくあり

ません。

●●●●● 就きたい仕事よりも ありたい自分を ●●●●●

私は、自身が超氷河期と言われる時代に就職をし、その後、二十六歳の時に勤めていた会社の支部閉鎖による失業を経験しました。そうした状況の中で出会ったたくさんの方々との出会いがハーベストの立ち上げのきっかけとなり、今の自分につながっています。ハーベストでの取り組みを始めてから十年、多くの生徒や大学生、そして学校や企業の現場、地域づくりに関わる方々など様々な声を聞いてきました。若者に今必要なのは「夢や就きたい仕事を見つけて」とよりも「こうありたいと思える自分をイメージすること」なのではないかと思えます。学校教育の中では、当然のことながら「目標(就きたい仕事)を定めて最短ルートを選び努力(勉強)をする」ことが優先されます。一方で、彼らが出ていく世の中の大きな変化を俯瞰すると、それだけではない考え方も必要になってくるのがわかります。彼らが日々目にする情報の中には、潰れるはずのない企業の悪いニュース

もあり、希望と目の前の現実との間で感情をなんとか維持しようとする意味割り切った考えようとしていることは容易に想像できます。だからこそ、不確実な世の中だからこそ、彼ら自身が自分を納得させられるだけの根拠を持って「ありたい自分」をイメージする手助けを私たちはすべきなのではないでしょうか。「夢があれば頑張れる」ではなく、「夢を叶えている大人は全体の二割かもしれないけれど、それらすべてを含めた全体の八割が今の仕事にやりがいを感じている」ということ。その事実の中で一人ひとりが現実に向き合い、様々な気持ちの折り合いをつけながら決断し生きていくこと、その集合体で世の中が成り立っているというのを、日々彼らの意識変化と対峙している現場の先生と共にしかるべきタイムリングで伝え続けていくことが大事なのだと思えます。きっと彼らなりの吸収力を受け止め、期待とともにチャレンジをする気概につながっていくのではないかと、そう私は考えます。

特例認定NPO法人ハーベスト
●●●●●
● TEL : 022-395-4311
● URL : <http://www.heartbest.net/>

活動の幅を広げる

「交流サロン」「会議室」活用術

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

みやぎNPOプラザ(以下プラザ)では、NPOや市民活動団体に交流サロンや会議室などの活動スペースを提供しています。今回は、秋に向けて活動の幅を広げたいと考えている団体に参考になるプラザの活用例を紹介します。

気軽に利用できる交流サロン

予約の必要なく無料で気軽に利用できる交流サロンは、少人数で集まって打ち合わせをしたい時にお勧めです。ホワイトボードやWiFiも無料で使用でき、その場で議論の内容をまとめたり、持参したパソコンで情報収集をしながら資料の作成が出来て便利です。WiFiを使用し、遠くのメンバーとネット会議というのもプラザではお馴染みの光景です。また、交流サロンには、団体が開催するイベント情報・ボランティア



▶交流サロンで打ち合わせをするNPO法人エイブ・アート・ジャパン

募集情報のほか、情報誌なども設置出来ます。多くの市民がNPOの情報を探求するプラザに来館しますので、ぜひ団体の情報発信の場としても活用して下さい。

会議室の活用例

会議室の利用団体のなかには、打ち合わせや講座以外にも工夫を凝らし面白い活用をしている団体があります。

天井が高く、広い窓があり開放的な構造の第一会議室は、イベント開催にお勧めです。放課後等デイサービスを行っているNPO法人Thyme(タイム)は、七月に第一会議室で、夏祭りを開催。室内を綺麗に飾り、バザーやヨーヨー釣りなどを行い、多くの親子で賑わいました。

同じく、広い窓があり明るい第三会議室は、カーペットの床に座布団と折り畳み机を並べて使用する部屋で、リラックスティな雰囲気で行う相談会の会場や他の会議室を利用する際の託児スペース・控室としても活用されています。

一方、窓がない第二会議室や、建物の内側に面した研修室は、落ち着いた雰囲気のため、じっくり集中したいワークショップの開催



▶NPO法人Thymeが開催した夏祭りの様子

にお勧め。団体で制作したアート作品の写真撮影の会場として使用する団体もいます。

紹介した活用例はほんの一部です。施設の性質上、運動や楽器演奏・合唱・火気使用などはできませんが、「こんな使い方をしてみたい!」という要望があれば、まずは気軽にご相談下さい。使用上のルールや各会議室の定員・使用料などは、みやぎNPO情報ネットから確認出来ます。

イベントの秋、プラザを最大限に活用し、活動の幅をさらに広げましょう!また、困ったことがあれば、いつでもご相談下さい。スタッフ皆さんをしっかりとサポートします。

プラザのNPO向け講座・相談

お申込みはコチラから

疑問を解消!
NPOのための税金初級講座

10月19日(木) 13:30~16:30

法人設立・団体運営相談

毎週水曜日 13:00~17:00

認定NPO法人相談

事前に相談希望日をお知らせください。

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者:認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎022-256-0505 ☎022-256-0533
✉npo@miyagi-npo.gr.jp

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

●TEL/FAX: 022-256-0511
●E-mail: info@miyagi-npo.gr.jp
●http://www.miyagi-npo.gr.jp/

平成29年度 まちなか創業チャレンジャー支援事業 二次募集

- 助成対象：商工団体等が行う、地域における創業・第二創業の促進のための創業スクールや会議、研修の開催等に要する経費、創業・第二創業者に対し、商工団体等を通じて創業に要する経費、空き店舗等を活用したチャレンジショップ等の開設など、ハード整備にも対応
- 対象団体：商店街振興組合又は商店街振興組合連合会、商工会議所、商工会又は商工会連合会、特定非営利活動法人など(詳細は下記URL参照)
- 助成金額：1件あたり上限1,000万円(補助率1/2以内)
- 応募締切：9月15日(金)
- 連絡先：宮城県経済商工観光部 商工金融課商業振興班
TEL：022-211-2746
URL：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syokokin/machinakasougyou.html>

公益財団法人トヨタ財団 2017年度国内助成プログラム 未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ—地域に開かれた仕事づくりを通じて—

- 助成対象：A)しらべる助成(最長1年間)
地域課題の発掘やその解決のために必要な調査、および事業戦略の立案など本格的に事業を実施する前の調査を目的としたプロジェクト
B)そだてる助成(2年間)
地域課題解決に向けた事業の立ち上げ、実施、拡大ならびにそうした事業の担い手となる人材を育てることを目的としたプロジェクト
※詳細は下記URL参照
- 対象団体：運営の中心となる組織の法人格の有無・種類不問
- 助成金額：A)1件あたり上限100万円
B)実施内容と申請額に基づき選考委員会で決定された金額
- 応募締切：9月29日(金)15:00
- 連絡先：公益財団法人トヨタ財団 国内助成プログラム
TEL：03-3344-1701
URL：<https://www.toyotafound.or.jp/program/community.html>

ソーシャル・ジャスティス基金 2017年度 第6回助成公募

- 助成対象：不公正の是正、市民社会の形成を目的とした、アドボカシー(社会提案)活動で、下記いずれかのテーマを対象としたもの。
①『「いのちの無差別性に関する取り組み」～あらゆるいのちが尊ばれる社会をめざして～』
②『見逃されがちだが、大切な問題に対する取り組み』
- 対象団体：営利を目的としない上記活動を行う団体で、助成決定後、アドボカシーカフェを共催し、多様な市民との対話ができること。助成発表フォーラムへの参加ができること。
- 助成金額：1件あたり上限100万円
- 応募締切：9月30日(土)当日消印有効

- 連絡先：認定NPO法人まちぽつと
ソーシャル・ジャスティス基金
TEL：03-5941-7948
URL：<http://www.socialjustice.jp/>

「みやぎチャレンジプロジェクト」助成 ~あなたの団体の活動費を共同募金会と一緒に集めませんか?~

- 助成対象：各団体が取り組む社会課題解決事業(まちづくり、過疎、居場所作り、ニート、不登校、自殺、孤立、貧困、DV、ホームレス等)
- 対象団体：宮城県内に活動拠点があり、県域または各市町村で活動している民間の非営利団体。5名以上で構成され、団体として原則1年以上の活動実績があること(詳細は下記URL参照)
- 助成金額：1団体あたり助成申請額は10万円以上
団体に寄せられた寄付金の全額を助成
※ただし、寄付額の10%を事務手数料としてご負担いただきます。(事務手数料上限10万円。寄付額が10万円未満の場合は負担なし。)
- 応募締切：9月30日(土)必着
- 連絡先：社会福祉法人宮城県共同募金会
TEL：022-292-5001
URL：<http://www.akaihane-miyagi.or.jp>

花王・みんなの森づくり 活動助成プログラム2017

- 対象団体：国内で身近な緑を守り、育てる活動(以下、「森づくり活動」)に取り組んでいる団体と、身近な緑を活用し、次世代に緑との触れ合いの機会を創出する活動(以下、「環境教育活動」)に取り組んでいる団体
※政治団体、宗教団体、営利団体は対象外
- 助成対象：私たちが生活する身近な場所での市民による「森づくり活動」と「環境教育活動」の2つの分野で、地域社会に寄与するもの
- 助成金額：1団体あたり1・2年目上限50万円/年、3年目25万円
- 応募締切：10月14日(土)当日消印有効
- 連絡先：公益財団法人都市緑化機構
「花王・みんなの森づくり活動助成」事務局
TEL：03-5216-7191
URL：<https://urbangreen.or.jp>

2017年度 社会福祉事業 NPO基盤強化資金助成 住民参加型福祉活動資金助成

- 助成対象：地域における高齢者・障がい者・子ども等に関する複合的な生活課題に、地域住民が主体となって、包括的な支援を行なう活動
- 対象団体：5人以上で活動する非営利団体(法人格の有無問わず)
※社会福祉法人除く
- 助成金額：1団体30万円を上限とします
- 応募締切：10月20日(金)17時
※郵送の場合は締切日当日の消印有効
- 連絡先：公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団
TEL：03-3349-9570
URL：<http://www.sjnkwf.org/>

- 定員：各回40名
※定員を超えた場合、2階アトリエで視聴。
- チケット：1回券=1,200円、3回券=3,000円、
特別券=600円(1回券のみ販売)
※特別券の対象は、小中学生、障害者および介
助者(1名)。未就学児は無料。
- 申込方法：下記連絡先にE-mailで申込み。
- 主催：吉岡宿にしりりかの映画祭実行委員会
- 連絡先：〒981-3621 黒川郡大和町吉岡字館下47
E-mail：info@nisipirica.com

10/7 第9回つるがや元気まつり

- 日時：10月7日(土) 9:30～16:00
※雨天の場合、翌日8日(日)に延期いたします。
- 場所：鶴ヶ谷温水プール前広場(ステージ)
アバイン前広場(フリーマーケット)
※まつり臨時駐車場は、限定台数の為に、極力
公共交通機関にてお越し願います。
- 内容：楽しいステージ…町内22団体出演予定
骨密度無料測定・筋力量・基礎代謝量無料測定
宮城野消防団による防災訓練
「濃煙テント体験」実施
豪華お楽しみ抽選会(当日配布のプログラムに
抽選券が付いています)
- 主催：つるがや元気会、鶴ヶ谷中央商店街
- 連絡先：ひまわり手芸店
TEL：022-251-5663(芦澤)

10/9 私たちはこの街でいきてはいけないの？ ～相模原障害者殺傷事件と私たちの 生きるメッセージ～

- 日時：10月9日(月・祝) 12:30開場 13:00開演
- 場所：せんだいメディアテーク オープンスクエア
- 内容：13:00～アピール大集合
【第一部 講演】「相模原障害者殺傷事件と私たち
の生きるメッセージ」
講師：玉木幸則氏(NHK『障害者情報バラエティー
バリバラ』レギュラー)
【第二部 当事者アピール】
15:40～アピール大行進：せんだいメディアテーク
出発→一番町アーケード→仙台駅前 仙都會館
前解散
- 参加費：500円(資料代)
- 主催：みやぎアピール大行動実行委員会
- 連絡先：仙台市宮城野区松岡町17-1(コッペ内)
TEL：090-9740-7799(代表：鷲見)

10/13 シニア向け相談会

.....
何かを始めたいシニアの方、あなたのチカラを地域のために
生かしてみませんか！

- 日時：10月13日(金) 13:30～16:30
- 場所：岩沼市市民活動サポートセンター
- 相談員：太田貴氏(NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター)
- 参加費：無料・予約優先3組(1組50分程度)
- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み。
- 主催：岩沼市市民活動サポートセンター
- 連絡先：TEL：0223-35-7205

10/14 子どもの個性の伸ばし方 ～ガレノスの気質論を学ぶ～

.....
ガレノスの気質論を学んで「その子らしさ」を大切にしている子育て
について理解を深めてみませんか？

- 日時：10月14日(土) 13:00～16:00(受付12:30)
- 場所：日立システムズホール仙台 交流ホール
- 講師：猪岡久子氏(仙台幼児保育専門学校)
- 参加費：助産師会会員・学生 無料、
非会員・一般 無料
- 申込方法：下記URLリンク先の専用メールフォームから申込み。
- 主催：一般社団法人宮城県助産師会
- 連絡先：TEL：022-244-8007
URL：http://www.midwife-miyagi.net/

10/15 斎藤惇夫氏講演会「子どもと子どもの本に 捧げた生涯—瀬田貞二先生について」

- 日時：10月15日(日) 10:30～16:00
- 場所：東北大学百周年記念会館
川内萩ホール2階 会議室
- 内容：①おはなしクローバーのお話会
「瀬田貞二再話の昔話を語る ストーリー テリ
ング(素話)」
10:30～12:30(受付10:00～)
②斎藤惇夫氏(児童文学者、作家)講演会
14:00～16:00(受付13:30～)
- 定員：①100名、②130名
※①②ともに要事前申込み、先着順
- 参加費：①700円、②1500円
※①②ともに高校生以下無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAXで申込み。
- 主催：おはなしクローバー
- 連絡先：TEL・FAX：022-379-4670(担当：廣瀬)

情報をお待ちしてます

- 申込方法：問合せ先を明記の上、
FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 紙面の都合で掲載できない場合があります。 ○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト 「みやぎNPO情報ネット」

<http://www/miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で
運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援す
るWebサイトです。ボランティアやスタッフ
の募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・
行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報
が満載です。
問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jpまで

- チケット：一般：3,000円、U25：2,500円
すんぷちよ券：500円(障害者手帳をお持ちの方・15歳以下の方)
※6歳以上はチケットが必要です。
※車椅子等でお越しの方は事前にご連絡ください。
ガイドヘルパー無料。

●申込方法：予約フォーム
<https://ticket.corich.jp/apply/85008>

- 主 催：NPO法人アートワークショップすんぷちよ
- 連絡先：TEL：070-5017-5904

9/23 第22回 MELON会員と市民のつどい MELONフェスタ

.....
環境問題に興味・関心がある人集合!! 環境NGO MELON
と楽しいひとときを過ごしませんか?

- 日 時：9月23日(土) 13:30～16:00(開場13:00)
- 場 所：仙台市シルバーセンター 7階
- 内 容：MELONの活動が分かる部会、プロジェクトや
会員企業・団体、学生サークルのブースが大集
合! 楽しいオープニングステージがあります!
手作りお菓子や飲み物を用意して待っています♪
- 対 象：どなたでも参加できます。
- 参加費：無料 来場自由!
- 主 催：公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
(MELON)
- 連絡先：TEL：022-276-5118

9/23 届く♪伝わる♪文章教室

.....
基本から添削例まで、あなたの文章作りをプロのライターが
お手伝いします。読み手に「届く」「伝わる」文章の書き方が学
べます。

- 日 時：9月23日(土・祝) 13:30～15:30
- 場 所：メディアデザイン・ワークススタジオ(仙台市
青葉区木町通1-1-11 朝日プラザ北一番丁1階)
- 講 師：大泉浩一氏(ライター・編集者)
- 定 員：5名
- 参加費：2,000円(当日会場にてお支払いください)
- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み。
お問合せは平日日中のみ。
- 主 催：一般社団法人メディアデザイン
- 連絡先：TEL：090-3049-0613(担当：千葉)

9/23 平成29年度ジェンダー論公開講座 格差・貧困を考える～“自己責任”を 生まない社会へ～

.....
男女間の雇用や所得の格差など社会には様々な格差がありま
す。誰もが、自分の生き方を自分で決められる社会にしてい
くためには…財政社会学の観点から考えます。

- 日 時：9月23日(土・祝) 13:30～15:00
- 場 所：エル・パーク仙台 セミナーホール(141ビル5階)
- 講 師：井出英策氏(慶應義塾大学経済学部教授)
- 参加費：1,000円
- 情報交換：「女性と貧困」を考える(15:10～16:30)
参加希望の方はあわせてお申込み下さい。
- 定 員：70名(先着順)

- 託 児：6ヶ月以上小学1年生まで(要申込)、しょうがいのある
お子さんや上のお子さんについてもご相談ください。
利用料 1人300円 締切：9月14日(木)
- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み。
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連絡先：仙台市男女共同参画推進センター
エル・パーク仙台 管理事業課
TEL：022-268-8300

9/24 死別を体験した子どもへのサポート ～地域で寄り添い支えるために、私た ちができること～

.....
私たちは、死別を体験した子どもに寄り添っているのだろうか?

- 日 時：9月24日(日) 10:00～12:00
- 場 所：仙台市立病院 3階第2会議室
(仙台市太白区あすと長町1-1-1)
- 講 師：佐藤利憲氏(福島県立医科大学看護学部講師、
NPO法人仙台グリーンケア研究会副代表など)
- 対 象：どなたでも参加可
- 定 員：60名
- 参加費：一般3,000円、個人・法人会員1,000円
- 申込方法：講座の前日までに、下記連絡先にTELで申込み。
- 主 催：NPO法人仙台グリーンケア研究会
- 連絡先：TEL：070-5548-2186

9/30 信頼されるNPOになる!! お金の管理のしくみ講座

.....
お金に関するトラブルを防ぐためには資金管理の仕組みを整
え、正確な会計業務を行うことが重要です。ミスや不正を防
ぐための仕組みづくりを学び、信頼される団体を目指しま
しょう!

- 日 時：9月30日(土) 13:00～16:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講 師：成田由加里氏(公認会計士、税理士)
- 対 象：NPO法人や市民活動団体の代表・役員・会計
担当者など
- 定 員：20名(申込先着順)
- 持参物：電卓、筆記用具
- 参加費：1,000円(税込)
- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み。
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画実施：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先：TEL：022-256-0505

9/30 吉岡宿にしぴりかの映画祭

.....
世の中の知らない事を教えてくれる映画。今年は高齢者と子
供たちの居場所についての作品が主になりました。

- 日 時：9月30日(土) 11:00～19:30
10月1日(日) 11:00～17:50
- 場 所：にしぴりかの美術館
- 内 容：9月30日は、『ある精肉店のはなし』、『ただいまそれ
ぞれの居場所』、『徘徊ママリン87歳の夏』上映など。
10月1日は、『月あかりの下である定時制高校の
記憶』、『アヒルの子』、『ぼくたちは見たガザ・
サムニ家の子どもたち』上映など。

- 主 催：公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部
- 連 絡 先：TEL・FAX：022-263-5091
(月～金 9:00～16:00・祝日は除く)

9/17 高齢者の健康と配食サービス ～輝く生活を送るために～

高齢者を支える世代の方々がますます輝くために。食とコミュニケーションづくりの専門家による講演会です。

- 日 時：9月17日(日) 13:00～16:15(開場12:30)
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター
6階セミナーホール
- 講 師：野村知子氏(桜美林大学健康福祉学群教授)
- 内 容：講演の後は手作りスイーツを味わいながらグループワークを行います。
・配食サービス、ボランティアの生きがい
・参加者の声、利用するひとの思い
・配食サービスとボランティアの役割
※各団体による併当展示もいたします。
- 定 員：先着100名(参加無料)
- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み。
- 申込締切：9月10日(日)
- 主 催：食事サービスネットワークみやぎ
- 連 絡 先：TEL：022-285-0945(あかねグループ)
FAX：022-229-2585(ふたばの会)

9/17 「アフリカセミナー・アフリカ文化パフォーマンス」 暮らしと食の文化を体感するイベント 2017in仙台

- 日 時：9月17日(日) 10:00～16:00
- 場 所：仙台国際センター [桜1・2]
- 内 容：・『アフリカンセミナー』～社会変化の開始と進展の加速～
・ランチタイム(アフリカランチボックス(プランテン・チキン))
※有料[500円]、下記連絡先に要事前予約
・『アフリカ文化パフォーマンス』
- 参加費：入場無料
- 主 催：宮城アフリカ協会(AFAM)
- 連 絡 先：TEL：070-2196-4220
E-mail：hello.afam@gmail.com

9/17 シンポジウム「自死は、向き合える」～ 私たちの周りで何が起きているのか～

自死は、個人の問題ととらえられがちですが、社会の問題であり、誰にでも起こりうる身近な問題です。あらゆる視点から自死をめぐる問題について皆さんと一緒に考えます。

- 日 時：9月17日(日) 13:30～16:30
- 場 所：仙台市福祉プラザ 11階第1研修室
- 登壇者：小原聡子氏(宮城県精神保健福祉センター所長)
杉山春氏(ルポライター)
田中幸子氏(仙台わかちあいのつどい藍の会代表)
前川珠子氏(東北希望の会代表)
小田島佳子氏(社会福祉法人仙台いのちの電話すみれの会代表)
滑川明男氏(NPO法人仙台グリーフケア研究会代表)
- 内 容：講演 テーマ「自死は、向き合える」

構成団体からの活動報告

- 主 催：宮城県自死遺族支援連絡会
- 連 絡 先：宮城県精神保健福祉センター
TEL：0229-23-1603

9/18 せんだい地球フェスタ2017 「ここから生まれる素敵な出会い」

毎年、多くの外国人市民やボランティアが集まりフェスタを盛り上げます。世界のさまざまな文化が体験できる一日です。どうぞご来場ください。

- 日 時：9月18日(月・祝) 10:00～16:00
- 場 所：仙台国際センター展示棟(仙台市青葉区青葉山)
- 内 容：・地球屋台村(さまざまな国の料理を味わえます)
・ステージ発表(世界各国の歌や踊りを紹介)
・ワークショップ体験(世界の現状や課題を考え、体験します)
・ドキュメンタリー映画「バベルの学校」上映会
- 対 象：どなたでも
- 参加費：入場無料
- 主 催：せんだい地球フェスタ実行委員会
- 連 絡 先：事務局(公益財団法人仙台観光国際協会内)
TEL：022-268-6260

9/22 簡単ホームページ作成講座 ～NPO・市民活動・自治会・サークル活動向けの講座～

ホームページを初めて作る方にお勧めする講座です。最新のサービス(Jimdo)を利用し、簡単にしかもほとんど費用をかけないで、スマホにも対応したホームページを作ることができます。

- 日 時：9月22日(金) 10:00～15:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ Paso Cafe
- 対 象：パソコンの基本操作ができる方
- 定 員：先着4名
- 参加費：3,500円(テキスト代込み)
- 持ち物：パソコン(Windows7)を用意しますが、Wi-Fi対応のパソコンであれば持ち込みも可能。
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAXで申込み。
- 申込締切：9月17日(日)
- 主 催：NPO法人イー・エルダー東北支部
- 連 絡 先：TEL・FAX：022-796-8091

9/23 公演2017「Manada」

子どもたちも大人たちも年齢や障害の有無に関わらず個性豊かな孤独が集まって、おおきな群れ[Manada]がうごきます。みなさまとともに創るダンスファンタジーの世界へお連れします。

- 日 時：9月23日(土) 19:00
9月24日(日) 11:00、15:00
※受付・マルシェ開始は開演60分前、開場は30分前
- 場 所：宮城野区文化センター パトナシアター
- マルシェ：開演60分前～終演後30分。劇場のロビーにManadaマルシェが出現します。何が起きるか当日のお楽しみ！出店の詳細は随時ずんぶちよHPで更新します！

イベント

9/14 連続セミナー「子どもと家庭支援のために」

子どもの問題と自分を守ることを学ぶ講座です。どなたでも参加できます。

- 日時内容：各日13:30～16:15
 - 9月14日(木)「傾聴とクレーム」
支援者としてより高い傾聴テクニックが身に付けられるよう、実践的な手法を学びます。発達障害についても学びます。
講師：植木田潤氏(臨床心理士、宮城教育大学・特別支援教育講座准教授)
 - 10月5日(木)「セルフケア」
多様な場面で私たちはストレスを抱えがちです。常に前向きで元気でいられるようにセルフケアの方法を学びます。動きやすい服装でご参加ください。
講師：小林純子氏(宮城県子ども支援会議メンバー)
田名綱典子氏(宮城県レクリエーション協会メンバー)
- ※1講座でも受講可。
- 場 所：日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター) 研修室1(両日とも)
- 定 員：各回35名(定員になり次第締め切り)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み。
- 主 催：宮城県
- 連絡先：NPO法人チャイルドラインみやぎ事務局
TEL・FAX：022-279-7210

9/14 重度の障害があっても自立した生活を実現しよう！ ～ともに介護保障を考えるシンポジウム[仙台]～

- 日 時：9月14日(木) 13:00～16:00(受付12:30～)
- 場 所：仙台市福祉プラザ 1階プラザホール
- 内 容：①基調講演「介護保障を考える障害者と弁護士の会全国ネットの活動報告」
採澤友香氏(弁護士)
②「仙台での24時間介護保障を実現して」
岩崎稔氏(筋ジス 詩人)
及川智氏(脳性まひ ピアカウンセラー、相談支援専門員)
木原知氏(弁護士)
③パネルディスカッション「力を合わせて声を上げれば、道は開ける」

藤岡毅氏(弁護士、介護保障を考える障害者と
弁護士の会 全国ネット代表)
岩崎稔氏(同上)
杉山裕信氏(脳性まひ CILたすけっと事務長)
岩永直子氏(BuzzFeed Japan記者)
木原知氏(弁護士)

- 定 員：150名(参加無料) ※申込不要
- 情報保障：全て手話通訳、要約筆記が付きまます。
- 主 催：介護保障を考える障害者と弁護士の会全国ネット
- 連絡先：TEL：0120-979-197

9/16 NPO法人TEDIC 3周年記念連続フォーラム 「子どもの貧困」最前線 第2回フォーラム

不登校・ひきこもり・若年無業者を支える「伴走型相談支援」
について、一緒に考えましょう！

- 日 時：9月16日(土) 10:00～12:00
- 場 所：石巻市保健相談センター 3階講義室
※お車の際は、周辺コインパーキングをご利用ください。
- 講 師：竹久輝顕氏(公益財団法人京都市ユースサービス協会)
- 内 容：・不登校・ひきこもりの子ども・若者を伴走しながら支える総合相談
・石巻における不登校の子どもたちへの支援(TEDICの活動報告)
- 対 象：子ども・若者・子育て支援関係者、一般市民、行政関係機関
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL・E-mail・FAXで「お名前、ご所属、TEL」を記載の上、申込み。
- 申込締切：9月12日(火)
- 主 催：NPO法人TEDIC
- 連絡先：TEL：0225-25-5286(担当：門馬)
E-mail：event@npotedic.net
FAX：022-774-2360

9/16 介護の“お悩み持ち寄り相談会” 仙台市内の“つどい”

“つどい”は知恵の宝庫、参加して話すことから始めよう

- 日 時：9月16日(土) 13:00～15:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ
- 内 容：介護家族の話し合い、語り合い
- 対 象：どなたでも参加できます。会員資格の有無を問いません。
- 参加費：100円(資料代) ※申込不要

縦 覧 申

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

- 宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>
- 仙台市 http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

!! 仙台市における認証手続きの変更について

国家戦略特別区域法第24条の4の規定により、仙台市では特定非営利活動促進法の特例が適用され、仙台市が所管するNPO法人の認証申請(設立、定款変更、合併)における申請書類の縦覧期間が、2カ月から2週間に短縮される等、認証手続きが変更になりました。仙台市は、縦覧期間中の申請書類をホームページで公表します。右記のURLからご確認ください。 ■http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

NPO法人に認証された団体		宮城県等所轄分7月11日～8月10日 仙台市所轄分7月11日～8月10日	
団体名	所在地	活動内容	認証日
宮城県等 シンプル	仙台市	障害児・者等が地域で自立した生活を営んでいくために必要な事業を行うもの。	8/3
仙台市 みちのく トレイルクラブ	青葉区	トレイルの整備・維持管理事業、トレイルに関わる各種事業及び連絡調整・連携事業、トレイル周辺の自然環境を活用した企画・実施事業 他	8/2

宮城県のNPO法人数 **816**団体
※2017年8月10日現在

●宮城県等所轄：397団体 ●仙台市所轄：419団体

- ・ Word、Excel等を使用可能であること
- ・ 対人コミュニケーション能力の高い方
- ・ 社会人経験のある方が望ましい
- ・ チャレンジ精神旺盛な方
- ・ 性別・年齢不問

- 応募方法：以下の書類をE-mailで送付。件名は「2017年七ヶ浜スタッフ応募」として下さい。
 - ①履歴書(写真添付)
 - ②職務経歴書(A4・1枚程度)
 - ③志望動機(A4・1枚程度)
- 雇用期間：採用日から2018年3月31日まで
※雇用期間更新の可能性あり
- 募集主体：認定NPO法人レスキューストックヤード
- 応募先：TEL：052-253-7550(担当：浜田)
E-mail：hamada@rsy-nagoya.com

- 応募方法：1.チラシ中面の「応募票」に必要事項を記入してください。チラシはHPからダウンロードできます。
- 2.代表的な作品の写真を10点以上添えてください。作品の写真1枚につき、A4サイズ用の紙1枚を使用して、写真をのりで貼り、作品の作者名・タイトル・サイズ・素材・制作年を記入してください。(画集などを提出されても結構です)
- 3.「小さなアトリエ支援の部」の応募者は、活動の写真を3点以上添えてください。
※ご提出いただいた資料はお返しできませんのでご了承ください。

- 詳細：応募条件などの詳細はHPをご確認ください。
- 締切：9月30日(土)必着
- 募集主体：NPO法人エイブル・アート・ジャパン
- 応募先：〒101-0021 東京都千代田区外神田6-11-14 アーツ千代田3331 #208「エイブル・アート・アワード2017」事務局宛
TEL：03-5812-4622
URL：http://www.ableart.org/

事業案内

【女性専用】児童養護施設等の退所者や親の支援を受けられない方のためのシェアハウス「さくらハウス」入居者募集!

- 入居条件：児童養護施設等の退所者、里親家庭から自立した方、親がいない・親の支援を受けられない方、およそ15歳～25歳くらいの女性
- 入居費用：敷金・礼金等なし
家賃15,000～30,000円、共益費10,000円
- 食事提供：なし
- 居室：5部屋(7畳2部屋、4畳半3部屋)、7畳居室は2人での入居も可能。各部屋に家具家電、鍵がついています。
- 共用室：14畳のリビングダイニング、キッチン、風呂、トイレ
- 所在場所：仙台市内
※非公表ですので、個別にお問合せください。
仙台駅までバスで30分程度、バス停は徒歩2分
- 募集主体：NPO法人ほっぷすてっぷ
- 連絡先：〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-8-10
TEL：080-3328-3515

～障害のある人の芸術活動を支援する～

「エイブル・アート・アワード2017」募集中!

障害のある作家の発掘と制作現場への資金的なバックアップを目的とした「エイブル・アート・アワード」を開催します。

- 募集部門：1. 画材支援の部 個人・団体合計6件
2. 展覧会支援の部 個人または団体1件
3. 小さなアトリエ支援の部 30万×2件

傾聴ボランティア養成講座 in 仙台市 (全3回講座)

傾聴ボランティア活動を通して、孤立する方々の心に寄り添うことを心掛けております。日常の中にも活かせる「傾聴」、あなたもボランティアしてみませんか?

- 日時：各日10:00～15:00の3日間コース
10月6日(金)、10月13日(金)、10月26日(木)
※3日間全過程出席の方に修了証を発行いたします。欠席した日の補講講座があります。
- 場所：仙台市福祉プラザ 11階第1研修室
- 対象：ボランティアとして活動できる方
※精神疾患で治療中の方は、ご遠慮願います。
- 定員：30名程度(定員になり次第、締め切り)
- 受講料：6,000円
(振り込まれた受講料は返金いたしません)
- 持ち物：筆記用具、昼食(各自持参ください)
動きやすい服装
- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み。申込み後3日以内に、受講料の振り込みをお願いします。
【振込先】ゆうちょ銀行
記号番号02220-8-134520
※通信欄に住所、氏名、ふりがな、電話、FAX番号、養成講座受講料と明記してください。
尚、お振込み票は講座初日にご持参ください。
- 主催：NPO法人仙台傾聴の会
- 連絡先：TEL：090-6253-5640(代表：森山)

会員募集

社の伝言板ゆるるは「地域の課題を自分たちで解決しよう!」と取り組む市民活動団体をサポートするとともに、市民のみなさんが市民活動やボランティアに興味を持ち、参加しやすい環境づくりを進めています。活動の柱となる月刊誌は、20年を超えて毎月欠かさず発行してきました。これもみなさまの温かいご支援のおかげです。

これからも安心して暮らせる地域づくりのために、多様な情報発信と支援活動を続けていきますので、ぜひ会員として支えてください!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	ー□ 3,000円
賛助会員NPO	ー□ 5,000円
賛助会員企業・団体	ー□ 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 **02250-0-43800**

加入者名 **特定非営利活動法人
社の伝言板ゆるる**

会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。

information

8月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。
こちらに掲載されている情報ダイジェスト版です。
詳しくはみやぎNPO情報ネットをご覧ください。



ボランティア情報

路上生活者(ホームレス)の自律支援ボランティア募集

路上生活者の方々が起居している所の安否確認などグループで自律支援活動を行っています。

- 活動内容：夜まわり、炊き出し、食事会、ゆっくり過ごす会など
- 日時場所：活動日時・場所は活動内容ごとに異なります。詳細は下記連絡先にお問合せください。
- 待遇等：交通費等の支給はありません。
- 募集主体：NPO法人仙台夜まわりグループ
- 連絡先：〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-10-12
TEL：090-6458-8730(担当：青木)
FAX：022-783-3123(事務所)

地域福祉ボランティアスタッフ募集

体のご不自由な方、病気や怪我、子育てで困っている方のために何か出来ることは？自分の趣味や特技を活かして社会貢献したい！そんなあなたをお待ちしています。

- 活動内容：①生活支援：家事、話し相手、病院の付添い、見守り、子育てのお手伝い
②コミュニティカフェ：食事づくり、食の交流活動
③介護予防教室スタッフ：脳健康教室、軽体操教室、趣味を活かした教室
④地域広報誌スタッフ：ときめき通信の作成
⑤まちづくり実行委員会スタッフ：企画、運営を一緒にして下さる方
※お電話でお問い合わせの上・見学・体験ができます。
- 募集主体：NPO法人地域生活支援オレンジねっと
- 連絡先：〒981-8002 仙台市泉区南光台南1-1-23
TEL：022-251-6435(平日10時～17時)

有給スタッフ

名取で市民活動を支援するスタッフ募集

- 職務内容：名取市の市民活動やコミュニティ活動の支援

- ・施設利用支援及び管理業務
- ・講座・相談会・交流会等の企画・運営 など

- 募集人数：契約職員 2名
- 勤務場所：名取市市民活動支援センター(名取市大手町5-6-1)
- 勤務時間：平日9:00～21:45の間 8時間シフト制
日・祝：9:00～18:00 シフトにより勤務
実働週40時間勤務
- 休日：毎週火曜日及び他1日の週休2日
- 給与等：基本給 165,000円～
通勤手当有り※マイカー通勤応相談
健康、厚生、雇用、労災保険加入
- 応募条件：土・日曜日、祝日、夜間の勤務が可能
パソコン操作(ワード、エクセル)ができる人
普通自動車免許のある人
- 応募方法：履歴書(写真付き)を下記連絡先まで郵送してください。
- 募集主体：NPO法人パートナーシップなとり
- 応募先：〒981-1232 名取市大手町5丁目6-1
名取市市民活動支援センターLC内
NPO法人パートナーシップなとり宛
TEL：090-5848-3264(担当：洞口)

七ヶ浜みんなの家きずなハウス スタッフ募集

東日本大震災後、七ヶ浜町の住民のみなさんの復興のお手伝いをしています。現在、七ヶ浜みんなの家きずなハウスで勤務するスタッフを募集中です。

- 職務内容：七ヶ浜事業の運営・実施、名古屋事務所との連絡、報告、みんなの家きずなハウス運営の管理
- 募集人員：若干名
- 勤務場所：みんなの家きずなハウス(七ヶ浜町字野山5-9)
- 勤務時間：週40時間程度(週5日)
9:30～18:30(休憩60分)
- 休日：月曜日と他に週休2日制。休日に勤務の場合は平日の代休。年末年始、その他事務局の指定日
- 待遇：嘱託職員 月給144,160～169,600円
※各種社会保険制度完備・交通費支給
※3か月の試用期間中は、時給800円。
※時間外あり：月平均30時間程度
- 選考方法：第一次選考は書類審査、第二次選考は面接
- 応募条件：当法人の理念に共感し、被災者支援の分野に強い関心のある方

平成29年度仙台市
NPO法人組織基盤安定化事業

9/28 NPO法人の『事務力』向上セミナー

総会の開催や事業報告など、法人として必ず行わねばならない作業も含め、年間を通してNPO法人がどのように段取りを行えば法人運営がスムーズに回るかを学びます。

- 講師：大久保 朝江(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 代表理事)
- 日時：9月28日(木) 14:00～16:00
- 会場：仙台市市民活動サポートセンター 研修室5
- 定員：20団体(先着順)
- 参加費：800円(税込)
- 対象：仙台市内に事務所を置くNPO法人の理事、総務担当者など

申込方法 下記連絡先にご連絡をいただくか、
こちらの申込フォームよりお申込みください。
申込フォーム：<https://goo.gl/NsaA78>



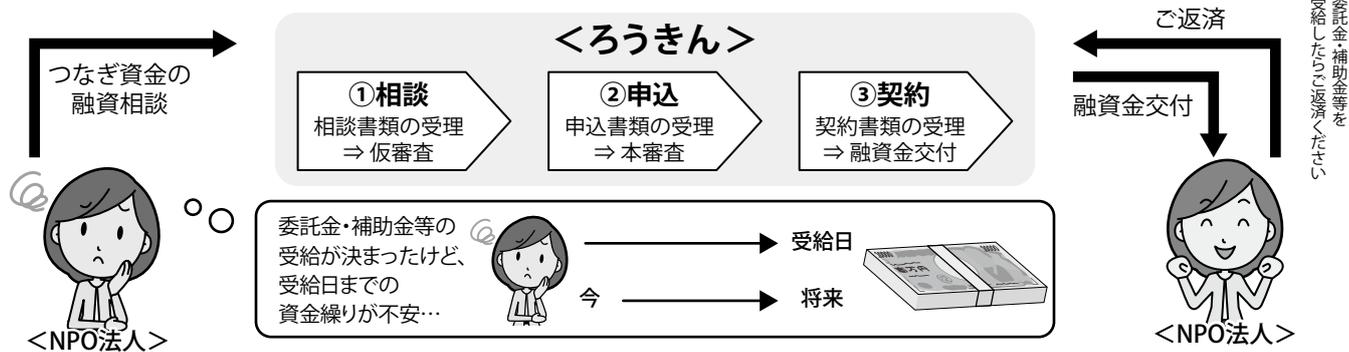
連絡先 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
TEL:022-791-9323 E-mail:npo@yururu.com

主催 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる、仙台市



「宮城県NPO活動支援融資制度」のご案内

ろうきんでは、「1年以内に国または自治体等からの委託金・補助金、および団体からの助成金等の受給が確定している特定非営利活動法人(NPO法人)」を対象として、受給を受けるまでの“つなぎ資金”を融資する制度を取り扱っております。



商品概要

- 融資額/委託金・補助金・助成金等の範囲内
 - 融資種類/手形貸付
 - 返済期間/1年以内
 - 金利/年1.70%(固定金利)
 - 担保/不要
 - 保証/法人代表者を含めて1名以上の連帯保証人
 - 取扱窓口/宮城県内の全営業店
- ※審査の結果、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
(2017年9月1日現在)

生活応援バンク
ろうきん 東北労働金庫 ☎ **0120-1919-62**
受付時間: 平日午前9時から午後5時

2017年度 みやぎ社会貢献大賞 みやぎ小さな活動大賞

募集期間
2017年9月11日~11月11日

この賞は、社会福祉のため、公共の利益のために力を惜しまず活動を行っている団体へ、これまでのねぎらいと、これからの期待をこめてその功績を讃え、お贈りするものです。

応募資格・条件・賞金

- 「みやぎ社会貢献大賞」100万円(原則1団体) ノミネート賞2万円(第一次審査通過団体)
宮城県内において、概ね5年以上、福祉・教育・環境・文化・国際交流などの分野で公益的な活動をしている団体
- 「みやぎ小さな活動大賞」20万円(原則1団体) ノミネート賞2万円(第一次審査通過団体)
宮城県内において、活動内容が小さく限定的でも地道にきめ細かく地域社会に貢献している団体

応募方法

当団体ホームページから応募書類をダウンロードし、必要事項を記入の上、団体規約(定款)総会資料(役員名簿・決算書含む)、過去5年間の活動実績をまとめたもの、およびパンフレット等を添付の上、11月11日(土)までに、当財団へ郵送。

応募締切 2017年11月11日(土)当日消印有効

応募・問い合わせ先
一般財団法人愛知揆一福祉振興会

〒980-0813 仙台市青葉区米ヶ袋1-5-21
TEL:022-262-0666 FAX:022-227-1320 <http://www.aichi-fukushi.org/>

